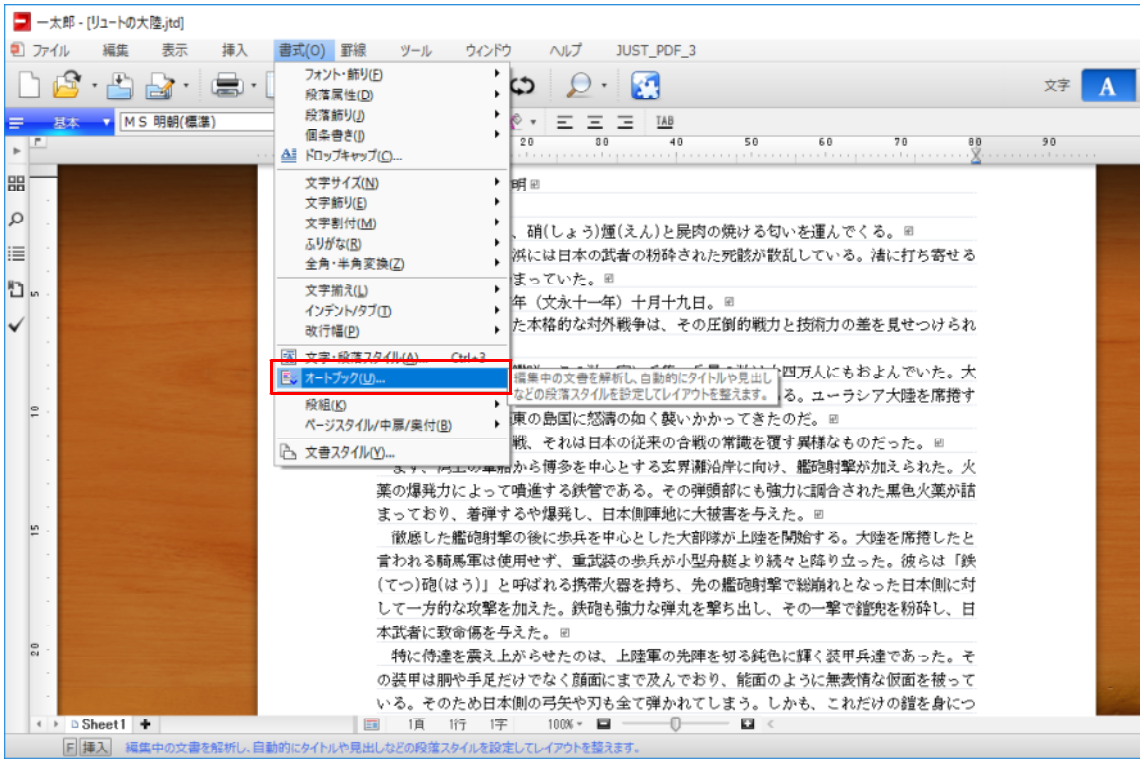
【一太郎 2017 編】
目次を自動的に作成するマル秘テク

小説や論文などの長い文章を冊子にする際は、目次を入れることが多いでしょう。しかし、長文になるほど、見出しを拾いながら目次を作成するのは面倒なうえに、手作業によるミスも起こりやすくなります。本文を書き上げたあと「オートブック」を利用すると、手軽に文書スタイルを整えて、見出しから目次を自動的に作成できます。執筆時は書くことに集中して、書き終わってから手軽に仕上げ作業を行えます。

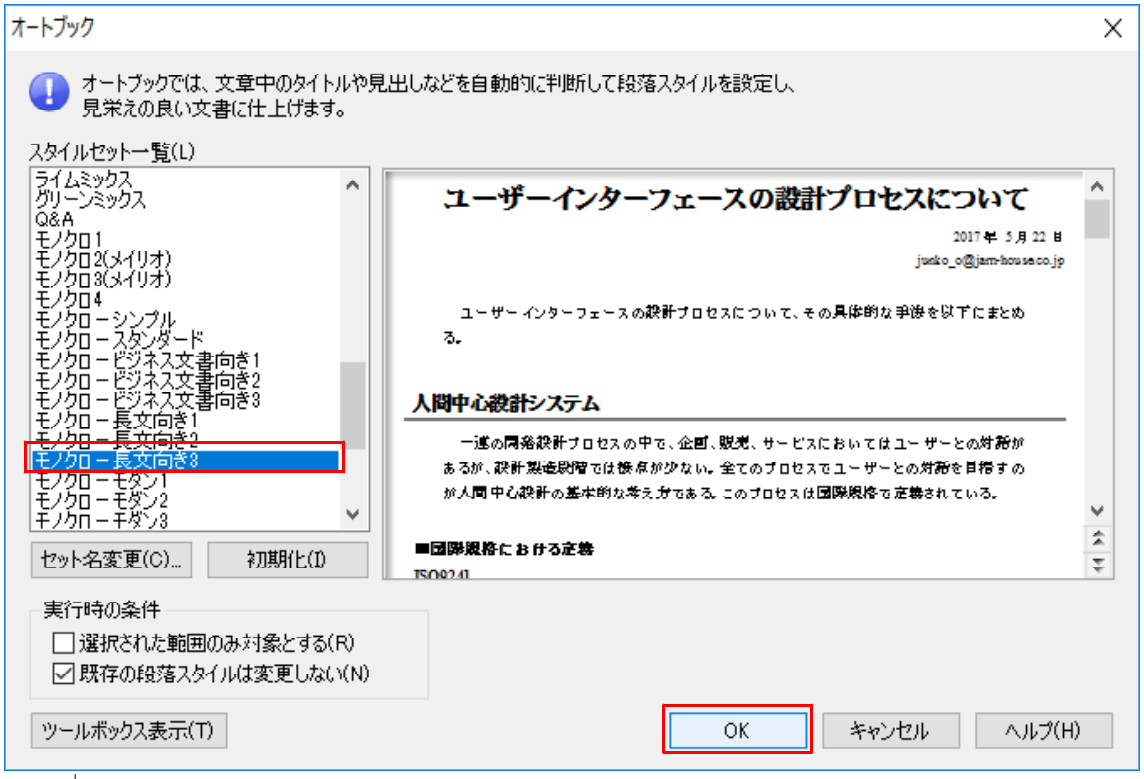
●オートブックで文書のスタイルを整える

1. 文章を入力し終わったら、［書式－オートブック］を選択します。



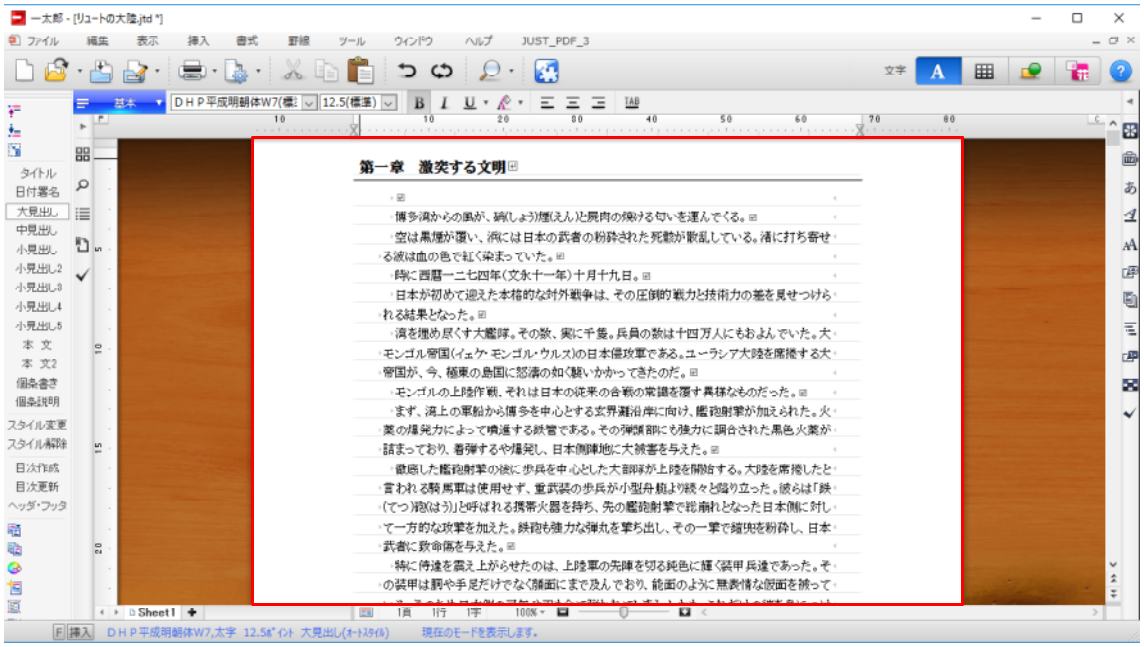
↓

2. ［スタイルセット一覧］から、設定したいスタイルセットを選択して［OK］をクリックします。



↓

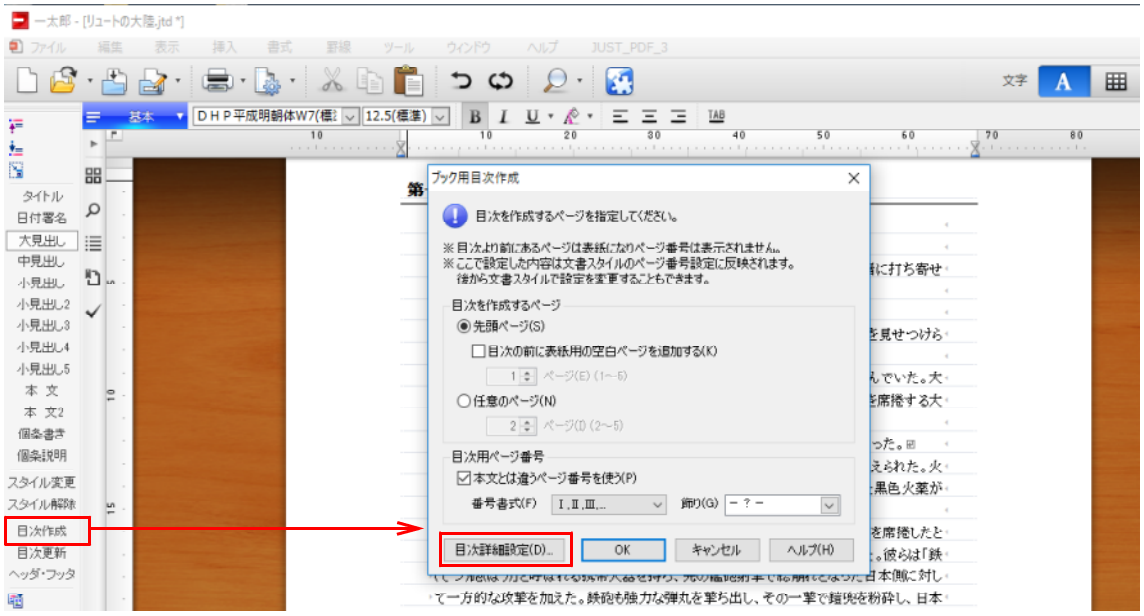
3. 文書の内容が解析され、タイトルや見出しなどの段落スタイルが自動的に設定されます。



●見出しから目次を作成する

4. オートブックのツールボックスの［目次作成］をクリックします。

［目次を作成するページ］で［先頭ページ］か［任意のページ］かを選択し、ページ番号の書式や飾りを設定します。［目次詳細設定］をクリックします。



↓

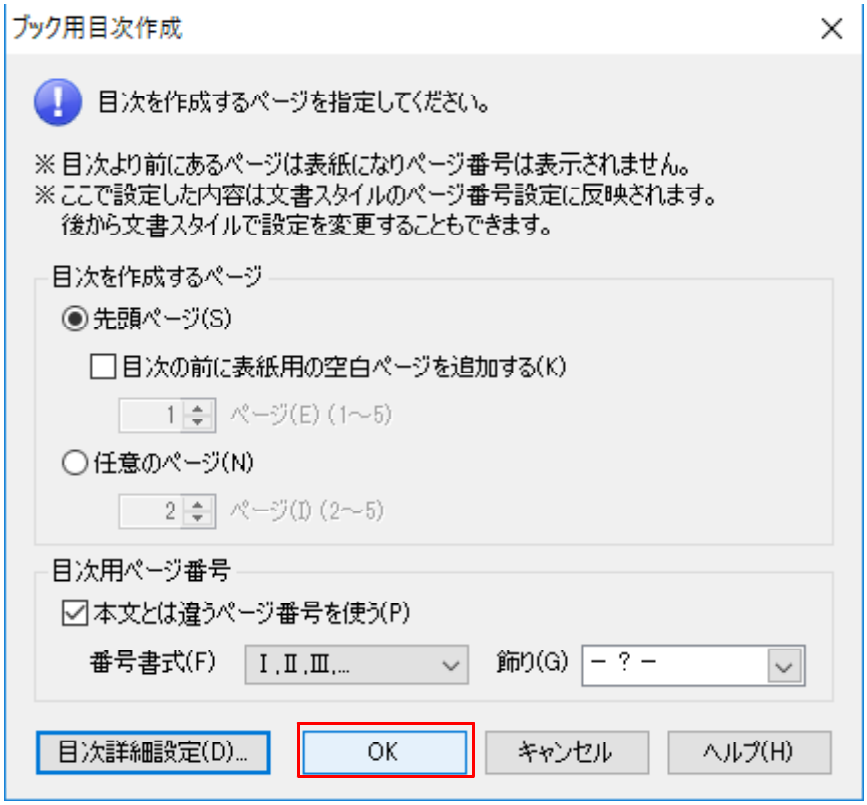
5. ページ番号を付ける位置やリーダーの種類を設定します。

↓

6. 目次にしない見出しは、タブを切り替えて［目次にする］のチェックを外します。設定できたら［OK］をクリックします。

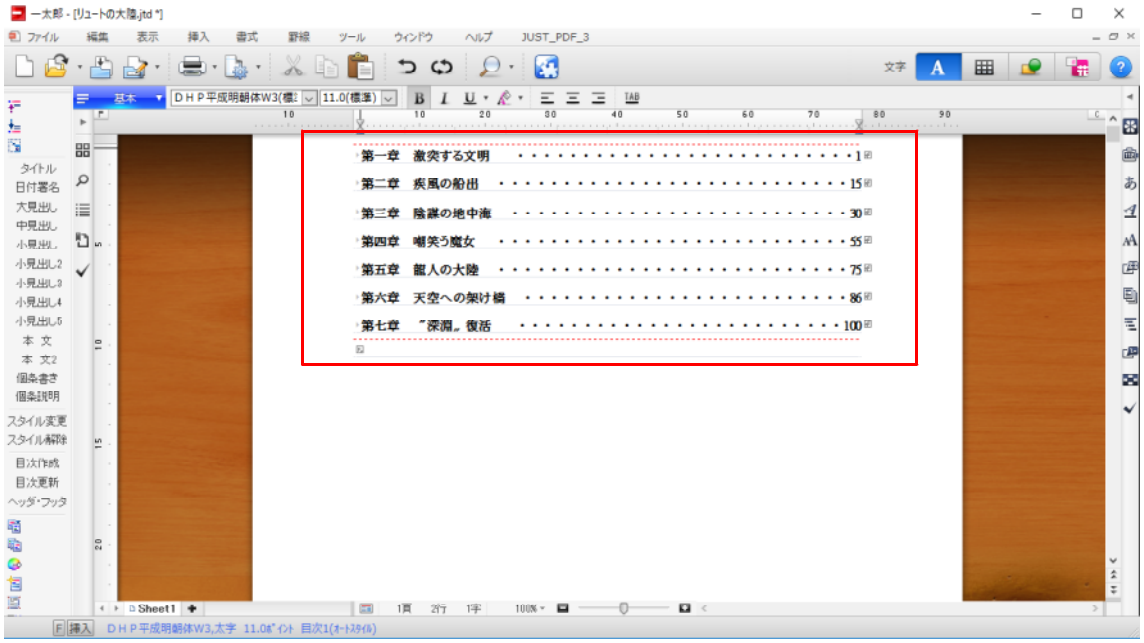
↓

7. ［ブック用目次作成］ダイアログに戻るので、［OK］をクリックします。



↓

8. 設定した内容で目次が作成されます。


一太郎 - [リュートの大陸.jtd *]
ファイル 編集 表示 挿入 書式 罫線 ツール ウィンドウ ヘルプ JUST_PDF_3
文字
基本
ＤＨＰ平成明朝体W3(標準)
11.0(標準)
タイトル
日付署名
大見出し
中見出し
小見出し
小見出し2
小見出し3
小見出し4
小見出し5
本 文
本 文2
箇条書き
箇条説明
スタイル変更
スタイル解除
目次作成
目次更新
ヘッダ・フッタ
第一章 激突する文明 ・・・